

開会の挨拶

令和三年度堺市 PTA 協議会 会長を務めさせて
いただきました吉原と申します。令和四年度堺市
PTA 協議会 総会の開会にあたり、一言ご挨拶申し
上げます。

本日はご多忙の中、本協議会の総会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、平素より本協議会にご理解とご協力を賜りますこと重ねてお礼申し上げます。まずはじめに、昨年度、堺市 PTA 協議会 役員並びに評議員として選出されご尽力いただきました皆様へ感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。一年間ありがとうございました。そして、理事として常に支えてくださったみなさま、相談役として不安な事を聞いていただき適切な助言をいただいた植木前

会長には、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。最後に本日の総会開催にあたり多大なご尽力をいただきました本協議会事務局並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、すでに二年以上もの月日が流れました。皆様におかれましては様々な制約のもとPTA活動の運営に苦労を重ねておられたことと存じます。未知なるウイルスが蔓延したことで、子どもたちを取り巻く環境も変化を余儀なくされ、私たち保護者の生活様式も一変しました。もう少し時間が経てばコロナ禍以前のような活動に戻せるかもしれません。しかし、コロナ感染症は私たちの価値観を変えてしまい、全ての物事の見方が大きく変わったと感じています。PTAのあり方についても、オンラインを活用した大会や非対面での連絡方法

など全国で一気に広まりをみせていることは周知の事実です。

昨年度、本協議会の総会は書面形式で開催し、交流・親睦のためのソフトバレーボール大会は中止を余儀なくされ、活動がほとんどできていない状態でした。そんな中、私自身開催はあきらめていた中央研修会はオンライン形式で開催に踏み切ることにしました。ここで学びを得たことが昨年度の私の一番の思い出になりました。中止で仕方がないと半ばあきらめていた私にオンラインでも開催したいと評議会から声があり、コロナを理由に簡単にあきらめていた自分が恥ずかしくおもったからです。なぜならば子どもにはコロナを理由にあきらめるなど注意している自分が存在し、自分自身は考えることも多いし面倒だからとコロナを理由に中止にしようとしていたからです。オン

ライン開催でもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。本協議会が歩みをとめてはいけない。アンケート結果を見ながら自省した一年でした。

結びになりますが、堺市PTA協議会は、afterコロナ時代に向けて変革の時期をむかえています。皆様には今後とも本協議会にご理解とご協力をお願いを申し上げますとともに、子ども達の健やかな成長を願います。私の挨拶とさせていただきます。

令和三年度 堺市PTA協議会 会長 吉原極